

平成 28 年 9 月 15 日 11:00 - 12:15、

沖縄県中頭郡西原町 琉球大学西原キャンパス共通教育棟 1 号 2 階大会議室にて

参加者：会長（河野）、庶務幹事（峰雪）、会計幹事（林）、編集委員長（唐原*）、編集委員（稲田*）、広報委員長（高野）、評議員（Ferjani、酒井、永田、野口、東山）

欠席：野崎、宮沢、宮城島、松永

* 評議員も兼ねている役員

議題：

1. 報告事項

- (1) 会長報告：河野会長より 2018 年からの科研費審査システムの変更に関する報告があった。
- (2) 庶務報告：峰雪庶務幹事より会員数（2016 年 9 月 2 日現在 296 名、長期未納者など不明の会員 9 名を除いた人数）に関する報告、酒井前庶務幹事より平成 27 年度の活動報告（3 月から 12 月まで；平成 27 年度大会（新潟）報告を含む）があった。
- (3) 編集委員会報告：唐原編集委員長より PLANT MORPHOLOGY Vol.27（2015 年 4 月）、Vol.28（2016 年 4 月）の刊行状況について報告があった。
- (4) 広報委員会報告：高野広報委員長より HP を用いた情報発信についての報告があった。
- (5) 会計報告（平成 27 年度決算）・会計監査報告：林会計幹事より平成 27 年度決算についての報告と、松永先生によって無事会計監査が終了した旨の報告があった。
- (6) 3 賞選考結果：野口 3 賞選考委員長から、選考委員会（選考委員：野口（委員長）、野崎、酒井、永田、唐原編集委員長、オブザーバー：河野会長）による 3 賞選考の過程と選考結果についての報告があった。学会賞 1 件、平瀬賞 5 件、奨励賞 2 件の応募があり、学会賞は該当者なし、平瀬賞は岩元明敏氏、栗原大輔氏、塚谷裕一氏をそれぞれ代表とする 3 編の論文、奨励賞は藤原崇之氏と吉田大和氏を選考した旨の報告があった。今回、評議員のメンバーが入っている論文の平瀬賞応募が複数あったため、選考委員の対象者が少なくなったことと、受賞者の人数により毎年講演時間を変更せざるおえない可能性があるという問題点が指摘され、委員長覚書として次期選考委員会に残すことにした。
- (7) 平成 29 年度大会（野田）：峰雪庶務幹事より来年度の大会（9 月 6 日午後東京理科大、松永先生大会長。準備委員長は未定）について報告があった。
- (8) その他：峰雪庶務幹事より今回の平成 28 年度沖縄大会の現状報告があった。
大会長は八木沢芙美会員。受賞講演 5 題（平瀬賞 3 題、奨励賞 2 題）、ポスター 50 題。事前参加申込者数 77 名（追加含む）。大会終了後の懇親会参加申込者数 32 名（追加含む）。翌日から開催の日本植物学

会における共催シンポジウムは、「多様な植物現象を理解するためのイメージング：細胞内構造から環境応答まで」（オーガナイザー 金岡雅浩・植田美那子、認定 NPO 法人総合画像研究支援、新学術領域・環境記憶統合との共催）、「微細藻類の多様な魅力：分類、進化、ゲノムから形態、藻類バイオまで」（オーガナイザー 河野重行・河地正伸）、JPR Symposium「Floral development reevaluation of its importance」（オーガナイザー A. Iwamoto・K. Bull-Here）の3件。

2. 審議事項

(1) 平成 28 年度事業計画案：平成 28 年度事業計画（案、ただし 9 月上旬までは実績）について峰雪庶務幹事より説明があり、原案を承認した。また、全期間を通じ、ホームページ等を用いた情報発信を継続することが確認された。

(2) 議事録の取り扱いについて：峰雪庶務幹事より、6 月のメールによる審議で、評議員会議事録も総会議事録も情報を速やかに共有するために案であっても HP で公開すること、28 年度は庶務幹事以外に評議員の中から 1 名書記を選出することを決定した旨の説明があり、今後もこの形を継続して良いかどうかについて審議し、当面書記をおくこと、また、議事録は HP には短縮版を載せることにし、より詳しいものは別の形で保存しておく（HP で閲覧者限定の場所に置く）ことが決定した。

(3) HP リニューアル：河野会長より HP のリニューアルの準備状況の説明があり、提案された今後の方針について承認した。

(4) 名簿の作成：峰雪庶務幹事より名簿作成に関して提案があり、その方法について協議した結果、来年度冊子体の形で作成することを決定した。

(5) 平成 28 年度予算案：林会計幹事より提出された平成 28 年度予算案について検討を行い、原案を承認した。

(6) 今後の大会運営について：峰雪庶務幹事より、参加者（発表者）が増え、討論の時間が減ってきており、現在の様式での大会運営は今後難しくなる可能性があるため、将来を見据えて大会運営の方法などを議論する場を設けてはどうかという提案があり、ワーキング・グループ（人選は河野会長に一任）を立ち上げることが決定した。

(7) その他：議事録の承認方法に関して審議し、従来の総会での承認から、評議員による承認にすることを決定した。

(8) 総会議長候補の選出：峰雪庶務幹事より提案があり、全会一致で総会議長候補として野口評議員を選出した。

平成 28 年 9 月 15 日 12:30～14:15

沖縄県中頭郡西原町 琉球大学西原キャンパス共通教育棟 1 号館 118 室

1. 会長挨拶：河野会長より挨拶があった。
2. 大会長挨拶：八木沢大会長より挨拶があった。
3. 総会議長と書記の選出：峰雪庶務幹事から提案があり、総会議長として、評議員会推薦の野口会員を選出した。以後の議事進行は選出された議長による。また、書記には稲田会員が選出された。
4. 報告事項
 - (1) 会長報告：河野会長より HP のリニューアルに関して説明があり、今後学会として会員専用頁でのお知らせ、議事録の掲載などを行い、植物形態学会から社会にどんどん発信していきたい旨の説明があった。
 - (2) 庶務報告（平成 27 年度大会（新潟）報告を含む）：峰雪庶務幹事より会員数に関する報告、酒井前庶務幹事より昨年度の活動、平成 27 年度大会について報告があった。
 - (3) 編集委員会報告：唐原編集委員長の代理として峰雪庶務幹事から PLANT MORPHOLOGY の発刊状況と J-Stage 版公開状況についての説明があった。
 - (4) 広報委員会報告：高野広報委員長から、昨年度の HP 等を用いた情報発信の状況と HP のリニューアルについて報告があった。
 - (5) 会計報告（平成 27 年度決算）：林会計幹事から平成 27 年度決算についての報告があった。
 - (6) 会計監査報告（平成 27 年度）：松永氏より平成 27 年度会計監査に関する報告があった。
 - (7) 3 賞選考結果について：野口 3 賞選考委員長より、学会賞 1 件、平瀬賞 5 件、奨励賞 2 件の応募があり、野口、酒井、永田、野崎、唐原を選考委員、河野委員長をオブザーバーとして審議し、学会賞は該当者なし、平瀬賞は岩元明敏氏、栗原大輔氏、塚谷裕一氏をそれぞれ代表とする 3 編の論文、奨励賞は藤原崇之氏、吉田大和氏に決定した旨の報告があった。
 - (8) 平成 29 年度大会（野田）：東京理科大学の松永氏より来年度の大会は 9 月 5 日に野田で開催するとの報告があった。
 - (9) その他：
 - a) 議事録の取り扱いについて：峰雪庶務幹事より、評議員会で議事録の承認は評議員間で行うことにしたとの報告があった。

b) 今後の大会運営について：峰雪庶務幹事より、評議員会で今後の形態学会の大会をどうするか考えるためのワーキング・グループを作ることにした旨の報告があった。

5. 審議事項

(1) 平成 28 年度事業計画案について：峰雪庶務幹事より平成 28 年度事業計画案について説明があり、承認された。

(2) 平成 28 年度予算案について：林会計幹事より平成 28 年度予算案について説明があり、承認された。

6. 授賞式：3 賞受賞者（下記）に対し、河野会長から賞状と記念の盾が授与された。

「平瀬賞」：岩元明敏氏（東京学芸大・教育・自然科学）

「平瀬賞」：栗原大輔氏（名古屋大・院・理・生命理学）

「平瀬賞」：塚谷裕一氏（東大・院・理・生物科学、自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンス）

「奨励賞」：藤原崇之氏（国立遺伝研・細胞遺伝・共生細胞進化）

「奨励賞」：吉田大和氏（理研・生命システム）

・受賞記念講演会（13:30～）

奨励賞：真核藻類における日周期と細胞周期進行の関係の理解に向けて

藤原崇之（国立遺伝学研究所・共生細胞進化研究部門） 13:30-13:50

奨励賞：ナノレベルの構造から解き明かす色素体分裂装置の分子メカニズム

吉田大和（理化学研究所・生命システム研究センター） 13:50-14:10

平瀬賞：Floral anatomy and vegetative development in *Ceratophyllum demersum*: A morphological picture of an “unsolved” plant

岩元明敏（東京学芸大学・教育学部・自然科学系） 14:10-14:30

平瀬賞：The coordination of ploidy and cell size differs between cell layers in leaves

塚谷裕一（東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻、自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター） 14:35-14:55

平瀬賞：ClearSee: a rapid optical clearing reagent for whole-plant fluorescence imaging

栗原大輔（名古屋大学・大学院理学研究科・生命理学専攻） 14:55-15:15

講演会終了後は、ポスター会場（大学会館）に移動しポスター発表を行った。ポスター会場では一般会員の投票により、ポスター賞 1 件（「シロイヌナズナの胚軸及び花芽メリステムの分化維持に関わる新規因子の解析」高橋和希，郡司玄，堀口吾朗，塚谷裕一，Ferjani Ali）を選び表彰を行った。